

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	キチン膜を用いた鼓膜穿孔閉鎖処置の後ろ向き検討			
2. 対象患者	下記期間に当科にてキチン膜を用いた鼓膜穿孔閉鎖処置を行った患者様を対象とします。			
3. 対象となる期間	2017年6月1日～2019年11月30日			
4. 実施診療科等	耳鼻咽喉科			
5. 研究責任者	氏名	葛西 崇	所属	耳鼻咽喉科
6. 研究の意義	鼓膜穿孔を閉鎖する手段としては以前より手術療法が行われてきております。しかし手術への抵抗がある患者さんも多く見られ、近年は外来にて皮膚の切開などは伴わない鼓膜穿孔に対する治療法の報告がみられてきました。当院では以前から、より簡便な方法としてキチン膜を鼓膜へ貼り付け、自宅にて抗菌薬の点耳をしてもらう鼓膜穿孔閉鎖処置を行っています。本法が従来の手術療法の治療成績と遜色がなければ、鼓膜穿孔閉鎖療法を選択肢に挙げられ、患者さんの負担を軽減した治療を行うことが可能となります。			
7. 研究の目的	今回この鼓膜穿孔閉鎖処置による成績を検討することを目的とします。研究成果は学会・論文として国内外へ発信します。			
8. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	上記対象期間に当院にてキチン膜を用いた鼓膜穿孔閉鎖処置を行った患者様の情報を収集します。収集する情報は、年齢、性別、鼓膜穿孔閉鎖の有無、耳漏の有無、治療期間などです。この収集した情報を解析し、穿孔の閉鎖率などを検討します。			
9. 個人情報の保護	カルテより得た情報は個人を特定できる情報を削除して、どの患者様の情報であるかが直ちに判別できないような形でデータベースに入力します。情報を保存するコンピューターは他のコンピューターと切り離されたコンピューターを使用し、鍵のかかる部屋にて厳重に管理します。			
10. 利益相反に関する状況	研究代表者および共同研究者は資金や便宜の提供は受けていませんので利害の衝突は起こりません。なお、この研究の利害関係については、弘前大学臨床研究利益相反マネジメント委員会へ届出ております。本研究は我々の研究グループによって公正に行われます。			
11. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 葛西 崇			
	電話	0172-39-5099	FAX	0172-39-5100